



平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 株式会社 ヨロズ
コード番号 7294

上場取引所 東証一部
URL <http://www.yorozu-corp.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 和己

問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務部長 (氏名)佐草 彰 TEL (045)543-6802

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日 配当支払開始予定日 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	35,250	△41.9	1,025	△78.7	966	△81.4	△245	—
21年3月期第2四半期	60,645	8.6	4,806	62.3	5,199	80.3	2,615	36.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	△14	43	—	—
21年3月期第2四半期	153	81	126	70

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第2四半期	65,387		37,452		48.1		1,848 44	
21年3月期	64,608		35,306		45.4		1,725 05	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 31,432百万円 21年3月期 29,334百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00
22年3月期	—	8 00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	8 00	16 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	77,000	△31.7	2,410	△62.2	2,360	△68.4	640	△80.0	37	64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
- ② ①以外の変更 : 無
- 〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- | | | | |
|-------------|-------------|--------|-------------|
| 22年3月期第2四半期 | 21,455,636株 | 21年3月期 | 21,455,636株 |
|-------------|-------------|--------|-------------|
- ② 期末自己株式数
- | | | | |
|-------------|------------|--------|------------|
| 22年3月期第2四半期 | 4,450,790株 | 21年3月期 | 4,450,780株 |
|-------------|------------|--------|------------|
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)
- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 22年3月期第2四半期 | 17,004,853株 | 21年3月期第2四半期 | 17,005,046株 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 〔(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。〕
2. 平成22年3月期の配当金につきましては、本日(平成21年11月11日)公表の「剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、昨年より世界同時不況に至っておりますが、緩やかに回復の兆しが見えてまいりました。

こうした中、日本におきましても生産及び在庫調整の進展等を背景に景気の下げ止まりが見えてきました。

自動車業界におきましては、海外では、各国の景気刺激策により、足元では徐々に回復が見られるものの、その回復スピードは国により違いもあり、世界全体の需要回復には、いまだ少し時間がかかると思われます。国内では新車販売は「環境対応車に対する減税及び買い替え補助金制度」の効果に支えられて、販売回復が続く見通しであります。

このような状況におきまして、当社グループの売上高は、前年同期と比べ41.9%減の35,250百万円となりました。

利益面では、「最大の効率と徹底したミニマムコスト」をポリシーとし、全社を挙げての緊急合理化策を実施した結果、営業利益は、1,025百万円、経常利益は、966百万円の黒字となりました。しかし、減損損失582百万円の計上などにより四半期純損失は245百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、95.59円/ドル（前第2四半期連結累計期間は、104.90円/ドル）であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,032百万円減少の28,678百万円となりました。

これは、主として「現金及び預金」が549百万円増加したものの、「受取手形及び売掛金」が984百万円減少、「その他」に含まれる未収入金が393百万円減少及び「製品」・「仕掛品」等のたな卸資産が284百万円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ1,811百万円増加の36,709百万円となりました。これは、主として「投資その他の資産」が1,213百万円増加及び「有形固定資産」が606百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末と比べ779百万円増加の65,387百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末と比べて1,196百万円減少の17,111百万円となりました。これは、主として「短期借入金」が1,084百万円増加したものの、「支払手形及び買掛金」が1,894百万円減少、「その他」に含まれる未払費用が672百万円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ169百万円減少の10,822百万円となりました。これは、主として「長期借入金」が186百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ1,366百万円減少の27,934百万円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,145百万円増加の37,452百万円となりました。これは、「利益剰余金」が331百万円減少したものの、「その他有価証券評価差額金」及び「為替換算調整勘定」が2,429百万円増加したことなどによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、最近の事業環境を踏まえ、連結・個別とも修正しております。詳細につきましては、本日（平成21年11月11日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・簡便な会計処理

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成21年5月12日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度の廃止を決議するとともに、平成21年6月16日開催の第64回定時株主総会において、在任期間に応じた退職慰労金を打ち切り支給することを決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金残高を取崩し、未支給の金額を固定負債の「その他」に計上しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,471	7,921
受取手形及び売掛金	10,279	11,264
製品	1,834	1,685
原材料及び貯蔵品	1,909	2,221
部分品	389	399
仕掛品	2,398	2,510
その他	3,425	3,726
貸倒引当金	△29	△19
流動資産合計	28,678	29,710
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	14,861	15,805
その他(純額)	15,366	13,815
有形固定資産合計	30,227	29,620
無形固定資産		
その他	84	93
無形固定資産合計	84	93
投資その他の資産	6,397	5,184
固定資産合計	36,709	34,897
資産合計	65,387	64,608
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,040	11,934
短期借入金	2,754	1,669
未払法人税等	347	406
賞与引当金	876	703
役員賞与引当金	43	34
その他	3,049	3,560
流動負債合計	17,111	18,308
固定負債		
新株予約権付社債	4,305	4,305
長期借入金	3,564	3,750
退職給付引当金	868	983
役員退職慰労引当金	—	207
その他	2,085	1,745
固定負債合計	10,822	10,992
負債合計	27,934	29,301

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,472	3,472
資本剰余金	5,435	5,435
利益剰余金	35,720	36,052
自己株式	△3,881	△3,881
株主資本合計	40,748	41,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,052	161
為替換算調整勘定	△10,367	△11,907
評価・換算差額等合計	△9,315	△11,745
少数株主持分	6,020	5,972
純資産合計	37,452	35,306
負債純資産合計	65,387	64,608

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	60,645	35,250
売上原価	51,328	30,724
売上総利益	9,316	4,526
販売費及び一般管理費	4,510	3,500
営業利益	4,806	1,025
営業外収益		
受取利息	96	28
受取配当金	93	35
為替差益	271	—
デリバティブ評価益	45	22
その他	68	63
営業外収益合計	576	149
営業外費用		
支払利息	176	119
為替差損	—	85
その他	7	4
営業外費用合計	183	209
経常利益	5,199	966
特別利益		
固定資産売却益	81	0
保険解約返戻金	—	4
受取補償金	127	—
その他	94	0
特別利益合計	303	5
特別損失		
固定資産売却損	2	0
減損損失	788	582
その他	17	7
特別損失合計	809	590
税金等調整前四半期純利益	4,693	381
法人税等	1,402	300
少数株主利益	675	326
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,615	△245

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません

(4) セグメント情報

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,745	26,138	12,760	60,645	—	60,645
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,915	199	87	2,202	(2,202)	—
計	23,661	26,337	12,848	62,847	(2,202)	60,645
営業利益	1,424	1,006	2,535	4,966	(160)	4,806

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国

(1)北米…アメリカ・メキシコ

(2)アジア…タイ・中国

3 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準9号平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が「日本」で116百万円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,609	12,018	8,622	35,250	—	35,250
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,195	186	60	2,442	(2,442)	—
計	16,805	12,205	8,682	37,693	(2,442)	35,250
営業利益又は 営業損失(△)	309	△133	679	855	170	1,025

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国

(1)北米…アメリカ・メキシコ

(2)アジア…タイ・中国

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません